ヲ 出一〇十一　錢二九〇十二
ヌ 創十五〇十三
ル 出六〇九
チ 民十一〇十一　伊上三十〇六

ふ　汝等再び前のごとく民に磚瓦を造る禾稈を與ふべからず彼等をして往てみづから禾稈をあつめしめよ　八　また彼等が前に造りし磚瓦の數のごとくに仍かれらわ之をつくらしめよ其を減すおかれ彼等い懶惰ゞ故に我儕をゐて往てわれらの神に犧牲をさゝげゐめよと呼いり言ふなり　九　人々の工作を重くして之に勞かしめよ然必僞の言を聽よとあらじと　十　民を驅使ふ者等およびろの有司等出ゆきて民にいひけるいパロかく言たまふ我おんぢらに禾稈をあたへじ　十一　汝等往て禾稈のある處にて之をとれ但しおんぢらの工作は分毫も減さゞるべしと　十二　是において民遍くエジプトの地に散て草藁をあつめて禾稈とおす　十三　驅使者かれらを促たて〻言ふ禾稈のありし時のおとく汝らの工作汝らの日々の業をなしをふべしと　十四　パロの驅使者等がイスラエルの子孫の上に立たるところの有司等撻れおんぢら何ぞ昨日も今日の磚瓦を作るところの汝らの業を前のごとくに爲しをへざるやと言る　十五　是に於てイスラエルの子孫の有司等來りてパロに呼はりて言ふ汝おんぢ斯僕等におすや　十六　僕等に禾稈を與へずしてわれらに磚瓦を作れといふ視よ僕等い撻る是おんぢの民の過なりと　十七　然るにパロいふ汝等い懶惰し懶惰し故に汝らい我らをして往てエホバに犧牲をさゝげゐめよと言ふなり　十八　然び汝ら往て操作けと禾稈いなんぢらに與ふることおかるべけれどなんぢら尙數のごとくに磚瓦を交納むべしと　十九　イスラエルの子孫の有司等汝等ろの日々につくる磚瓦を減すべからずと言るを聞て災害の身わおよぶを知り　二十　彼らパロをゐおれて出たる時モーセとアロンの對面わたてるを見たれば　二十一　之わいひけるい願くいエホバ汝等を鑒みて鞫きたまへ汝等いわれらの臭をパロの目と彼の僕の目わ忌嫌いれゐめ刀を彼等の手わわたして我等を殺さゐめんとするなりと　二十二　モーセ、エホバわ返りて言ふわが主よ何て此民をわしくゐたまひしや　二十三　わゞパロの許わ

イ 出十一〇二、十二〇五十一
ロ 創十七〇一、三五〇十一、四八〇三
ハ 出三〇十四　詩六八〇四　箴八〇五三　數一〇四
ニ 創十五〇十八、十七〇四、七
ホ 創十七〇八
ヘ 出二〇二十四
ト 出三〇十七、七〇四　申二六〇八　詩八一〇六
チ 出十五〇十三　申七〇八　代上十七〇二十一
リ 申八〇六　伊上七〇二十四
ヌ 創十七〇七、八　申二九〇十三　數二十一〇七
ル 詩八十一〇六
ヲ 創十五〇十八、二六〇三
ワ 六十四〇三十一　來十〇二十三

第六章

一　エホバ、モーセわ言たまひけるは今汝わゞパロに爲んところの事を見るべし能ある手の加はるによりてパロ彼らをさらしめん能ある手の加はるによりてパロ彼らを其國より逐いだすべし　二　神モーセわ語りて之わいひたまひけるい我いエホバなり　三　我全能の神といひてアブラハム、イサク、ヤコブわ顯れたり然ど我名のエホバの事は彼等ゐらざりき　四　我また彼らとわが契約を立て彼等ゞ旅して寄居たる國カナンの地をかれらに與ふ　五　我またエジプト人が奴隸とおせるイスラエルの子孫の呻吟を聞き且我ゞ契約を憶ひ出づ　六　故にイスラエルの子孫に言へ我いエホバおり我汝らをエジプト人の重負の下より攜出し其使役をまぬかれしめ又腕をのべ大なる罰をほどこして汝等を贖はん　七　我汝等を取て吾民となし汝等の神となるべし汝等はわがエジプト人の重擔の下より汝らを攜出したるおんぢらの神エホバおることを知んハ　我わが手をわげてアブラハム、イサク、ヤコブわ與へんと誓ひし地わ汝等を導きいたり之を汝等わ與へて產業とおさゐめん我はエホバなり　九　モーセかくイスラエルの子孫わ語けれども彼等い心の傷ると役事の苦きとの爲にモーセに聽ざりき　十　エホバモーセわ告ていひたまひけるは　十一　入てエジプトの王パロに語りイスラエルの子孫をろの國より去めよ　十二　モーセエホバの前わ申していふイスラエルの子孫既に我に聽ず我は口わ割禮をうけざる者おれゞパロいかで我わきかんや　十三　エホバモーセとアロンわ語り彼等わ命じてイスラエルの子孫とエジプトの王パロの所わ往ゐめイスラエルの子孫をエジプトの地より導きいださゐめたまふ　十四　かれらの父の家々の長い左のごとしイスラエルの冢子ルベンの子ヘノク、パル、ヘツロン、カルミ是等いルベンの家族なり　十五　シメオンの子ヱムエル、ヤミン、オハデ、ヤキン、ゾハル、およびカナンの

カ 創四九〇九　代上五〇三
ヨ 創四六〇十　代四〇二四
タ 耶一〇六
レ 創十七〇八
ソ 出十一〇二、十二〇五十一
ツ 出十二〇十一　來十〇二十三

タ　創四六〇十一　民三〇十七　代上六〇一

レ　民二六〇五七　代六〇十八

ソ　出三〇一、二一　民二六〇五九

ツ　民十六〇一　代上六〇三七、三八

子　利十〇四　民三〇三十

ナ　得四〇十九〇二十　代上二〇十　太一〇四

ラ　利十〇一　民三〇二、二六〇六十　代上六〇三　民二六〇十一

ウ　民二五〇七、十一、十二　需二四〇三十三

井　出七〇四、十二、五十一　民三十三〇一

ノ　出三十二〇七、三十三〇一、詩七七〇二十

オ　出七〇二

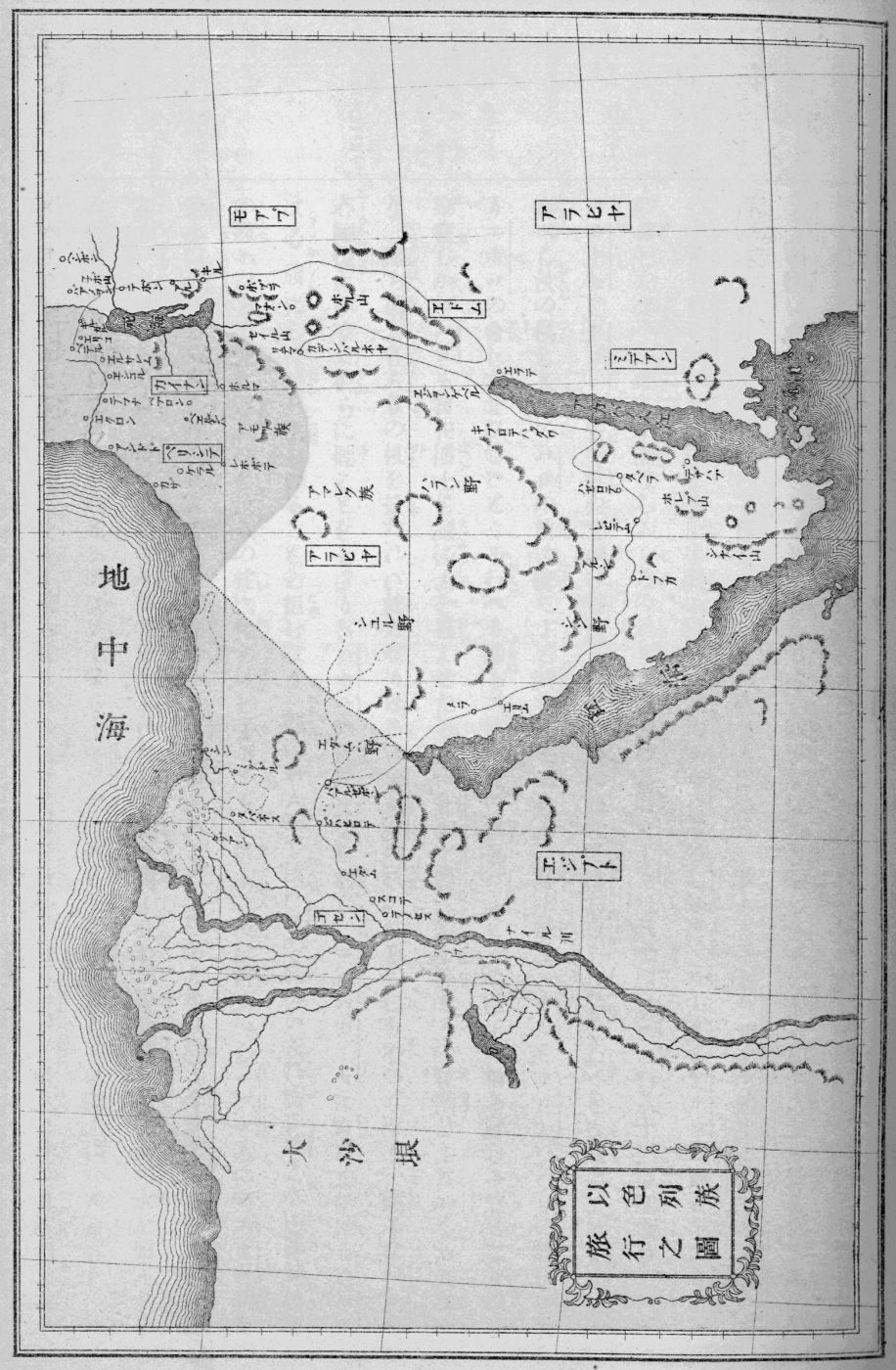
ク　出四〇十六　耶一〇六

イ　出四〇十六、耶一〇十

女の生しシヤウル是らいシメオンの家族なり　十六　レビの子の名いろの世代に去たがひて言ば左のごとしゲルシヨン、コハテ、メラリ是ありレビの齡の年い百三十七年なりき　十七　ゲルシヨンの子いろの家族ゐしたゞひて言ばリブニおよびシメイありき　十八　コハテの子はアムラム、イヅハル、ヘブロン、ウジエルなりコハテの齡の年は百三十三年なりき　十九　メラリの子はマヘリおよびムシなり是等いレビの家族にしてろの世代ゐ去たゞひて言る者也　二十　アムラム其伯母ヨケベデを妻ゐめとれり彼アロンとモーセを生むアムラムの齡の年い百三十七年ありき　二一　イヅハルの子いコラ、チヤグ、シクリなり　二二　ウジエルの子はミサエル、エルザパンシテリなり　二三　アロン、ナシヨンの姉アミナダブの女エリセバを妻ゐめとれり彼ナダブ、アビウ、エレアザル、イタマルを生む　二四　コラの子はアッシル、エルカナ、アビアサフ、是等はコラ人の族ありき　二五　アロンの子エレアザルプテエルの女の中より妻をめとれり彼ピチバカを生む是等はレビ人の父の家々の長にしてろの家族に循ひて言る者なり　二六　エホバゞのイスラエルの子孫を其軍隊ゐしたゞひてエジプトの地より導きいだせよといひたまひしい此アロンとモーセありき　二七　彼等はイスラエルの子孫をエジプトより導きいださんとしてエジプトの王パロに語りし者ゐして即ち此モーセとアロンありき　二八　エホバエジプトの地にてモーセに語りたまへる日に　二九　エホバモーセに語りて言たまひけるは我はエホバなり汝わゞ汝にいふ所を悉皆くエジプトの王パロに語るべし　三十　モーセエホバの前ゐ言けるは我は口に割禮を受ざる者なれバパロいかで我に聽んや

第八章

一　エホバモーセゐ言たまひけるは視よ我汝をしてパロにおけること神のごとくならしむ汝の兄弟アロンは汝の預言者とゐるべし　二　汝いわが汝ゐ命ずる所を盡く宣べし汝の兄弟アロンいパロゐ告ること



イ 出十〇二、十一〇九
ロ 出十〇九、四〇七
ハ 出六〇六
ニ 出六〇六
ホ 出三〇二十
ヘ 出八〇二十二、十四〇四十八、詩九〇十六、五九〇十三、八二〇十八
ト 申二九〇五、三十一〇二、三四〇七、歴七〇二十三
チ 撃七〇十一　詩二〇十八、六〇三十
リ 出四〇二、十七
ヌ 出四〇三
ル 創四一〇八　但二〇二、提後三〇八
ヲ 出七〇二十二、八〇七、十八、伯十二〇十六、歴十二〇五、撃後二〇九、十一、詩十二〇九
ワ 出四〇二十一
カ 出八〇十五、十〇一、二十、二十七
ヨ 出四〇二、三
タ 出三〇十二、十八、五〇一、三
レ 詩九〇十六、箴二十〇四、八二五〇十七、三四〇三
ソ 出四〇九、詩十六〇四、六
ツ 出七〇二四
子 出八〇五、九〇二十二、十〇十二、二十一、十四〇二十一

とを爲べし彼イスラエルの子孫をろの國より出すわ至らん　三我パロの心を剛愎にして吾徴と奇跡とニジプトの國に多くせん　四然ごパロ汝に聽ざるべし我すなはち吾手をエジプトわ加へ大なる罰を施どこして吾軍隊わゐの民イスラエルの子孫をエジプトの國より出さん　五我わゐ手をエジプトの上わ伸てイスラエルの子孫をエジプト人の中より出す時わは彼等我のエホバなるを知ん　六モーセとアロン斯おこおひエホバの命じたまへる如くわ然なしぬ　七ろのパロと談論ける時モーセい八十歳アロンい八十三歳なりき　八エホバモーセとアロンに告て言たまひけるは　九パロ汝等に語りて汝ら自ら奇蹟を行へと言時には汝アロンに言べし汝の杖をとりてパロの前に擲てよと其い蛇とならん　十是わ於てモーセとアロンいパロの許にいたりエホバの命じたまひしごとくわ行へり即ちアロンろの杖をパロとろの臣下の前わ擲しわ蛇となりぬ　十一斯在しかゞパロもまた博士と魔術士を召よせたるわエジプトの法術士等もろの秘術をもてかくおこなへり　十二即ち彼ら各人ろの杖を投たれゞ蛇となりけるごアロンの杖かれらの杖を呑つくせり　十三然るにパロの心剛愎におりて彼らに聽ことをせざりきエホバの言たまひし如し　十四エホバモーセに言たまひけるいパロは心頑にして民を去しむることを拒むなり　十五朝におよびて汝パロの許わいたれ視よ彼ゑ水に臨む汝河の邊わたちて彼を逆ふべし汝ゐの蛇に化し杖を手わとりて居り　十六彼に言ふべしヘブル人の神エホバ我を汝わつかはして言しむ吾民を去しめて曠野わて我に事ふることを得せしめよ視よ今まで汝い聽入ざりしなり　十七エホバのく言ふ汝これによりて我ごエホバなるを知ん視よ我わが手の杖をもて河の水を擊ん是血わ變ずべし　十八而して河の魚い死わ河は臭くならんエジプト人ゑ河の水を飲ことを厭ふにいたるべし　十九エホバまたモーセに言たまはく汝アロンわ言へ汝の杖をとりて汝の手をエジプトの上に伸べ流水の上河々

ナ 出十七〇五
ラ 詩七八〇四四、百五〇二九
ム 箴二九〇一
イ 出三〇十二
ロ 出七〇十四、九〇二
ハ 歴十六〇十三
ニ 詩百五〇三十
ホ 出七〇十九
ヘ 詩七八〇四五、百五〇三十
ト 出七〇十一
チ 出九〇二十八、十〇十七、民二十一〇七、王上十三〇六、徒八〇二四

の上池塘の上一切の湖水の上に伸て血とあらしめよエジプト全國に於て木石の器の中ゐ凡て血あるゐいたらん　二十　モーセ、アロンすゐはちヱホバの命じたまへるごとくゐ爲り即ち彼パロとろの臣下の前ゐて杖をあげて河の水を擊しに河の水みな血ゐ變じたり　二一　是において河の魚死て河臭くなりエジプト人河の水を飲ことを得ざりき斯エジプト全國ゐ血ありき　二二　エジプトの法術士等もろの秘術をもて斯のごくと行へりパロい心頑固ゐして彼等に聽ことをせざりきヱホバの言たまひし如し　二三　パロすなはち身をめぐらしてろの家ゐ入り此事ゐも心をとめざりき　二四　エジプト人河の水を飲ことを得ざりしかば皆飲水を得んとて河のまわりを堀たりヱホバ河を擊たまひてより後七日たちぬ

第八章

一　ヱホバモーセに言たまひけるい汝パロゐ詣りて彼ゐ言へヱホバかく言たまふ吾民を去しめて我ゐ事ふることを得せゑめよ　二　汝もし去ゑむることを拒まゞ我蛙をもて汝の四方の境を惱さん　三　河に蛙むらがり上りきたりて汝の家にいり汝の牀にのぼり汝の臣下の家ゐいり汝の民の所ゐいたり汝の竈におよび汝の搓鉢にいらん　四　蛙ゐんぢの身ゐのぼり汝の民と汝の臣下の上にのぼるべし　五　ヱホバモーセに言たまはく汝アロンに言へ汝杖をとりて手を流水の上に伸べ河々の上と池塘の上ゐ伸て蛙をエジプトの地に上らしめよ　六　アロン手をエジプトの水のうへに伸たれゞ蛙のぼりきたりてエジプトの地を蔽ふ　七　法術士等もろの秘術をもて斯おこなひ蛙をエジプトの地に上らゑめたり　八　パロモーセとアロンを召て言けるいヱホバに願ひてこの蛙を我とわが民の所より取さらしめよ我この民を去しめてヱホバに犧牲をさゝぐることを得せしめん　九　モーセパロに言けるい我なんぢと汝の臣下と汝の民のために願ひて何時此蛙を汝と汝の家より絶さりて河にのゝ止らしむべきや我に示せと　十　彼明日といひけれゞモーセ

言ふ汝の言のごとくゐ爲し汝をして我らの神ヱホバのごとき者なきことを知ゑめん　十一　蛙汝と汝の家を離れ汝の臣下と汝の民を離れて河ゐのみ止るべしと　十二　モーセとアロンすなはちパロを離れて出でモーセろのパロに至ら玄めたまひし蛙のためにヱホバに呼たり玄に　十三　ヱホバモーセの言のごとくなしたまひて蛙家より村より田野より死亡たり　十四　茲にこれを攢むるに山をゐし地臭くなりぬ　十五　然るにパロは噓氣時ゐるを見てその心を頑固にして彼等に聽ことをせざりきヱホバの言たまひし如し　十六　ヱホバモーセに言たまひけるい汝アロンに言へ汝の杖を伸べ地の塵を打てエジプト全國ゐ蚤とおら玄めよと　十七　彼等斯なせり即ちアロン杖をとりて手を伸べ地の塵を擊けるに蚤となりて人と畜につけりエジプト全國ゐおいて地の塵み な蚤となりぬ　十八　法術士等ろの秘術をもて斯おこなひて蚤を出さんと玄たりしが能ざりき蚤い人と畜ゐ着く　十九　是において法術士等パロゐ言ふ是い神の指なりと然るゐパロい心剛愎ゐして彼等ゐ聽ざりきヱホバの言たまひし如し　二十　ヱホバ、モーセに言たまはく汝朝早く起てパロの前に立て視よ彼い水に臨む汝彼に言へヱホバかく言たまふわが民を去しめて我ゐ事ふることを得せゑめよ　二一　汝もしわが民を去しめずば視よ我汝と汝の臣下と汝の民と汝の家とに蚋をふくらんエジプト人の家々にい蚋充べし彼らの居るところの地も然らん　二二　ろの日に我わが民の居るゴセンの地を區別おきて其處に蚋あら玄めじ是地の中にありて我のヱホバなることを汝ぞ知んためなり　二三　我わが民と汝の民の間に區別をたてん、明日この徵あるべし　二四　ヱホバかく爲たまひたれゞ蚋おびたゞしく出來りてパロの家にいりろの臣下の家にいりエジプト全國にいたり蚋のために地害をる　二五　是において パロ、モーセとアロンを召ていひけるい汝等往て國の中にて汝らの神に犧牲を献げよ　二六　モーセ言ふ然するい宜からゑ我儕いエジプト人の崇拜む者を犧牲としてわ

リ 出九〇十四　申三十三〇二六、詩七〇二十二、
ヌ 出九〇三十三、十〇十八、三十二〇十一　雅五〇十六、亞十八
ル 傳八〇十一
ヲ 箴二十一〇二九
ワ 詩百五〇三十一
カ 出七〇十一
ヨ 路十〇十八　提後三〇八、九
タ 母上六〇三九　伯三七〇十一、詩八〇三、太十二〇二八　路十一〇二十
レ 出七〇十五　徒十三〇十一
ソ 出九〇四、六、二六
ツ 詩七八〇四六
子 創四六〇三四　出七〇二五、二六

ナ 出三〇十八
ラ 出三〇十二
ム 出九〇二十八　王上十三〇
六 徒八〇二十四

ウ 雅五〇十七

井 出四〇二十一　羣二八〇
十四 詩九〇十七　箴二十
三

イ 出八〇一　耶二十二〇一

ロ 出八〇二　羅二〇五

ハ 出七〇四　母上六〇三、五
伯二七〇十一　詩三九〇
十　箴十一〇七十
徒十三〇十一

ニ 出八〇二十二

ホ 詩七八〇五十

ヘ 出八〇三十二

れらの神エホバに献ぐべけれゞなり我等もしエジプト人の崇拜む者をろの目の前ゐて犧牲ゐ献げなゞ彼等石にて我等を擊ざらんや　二七我儕い三日路ほど曠野にいりて我らの神エホバに犧牲を献げろの命じたまひしごとくせんとす　二八パロ言けるい我汝らを去ゑめて汝らの神エホバに曠野ゐて犧牲を献ぐることを得せしめん但餘に遠くは行べからず我ために祈れよ　二九モーセ言けるは視よ我汝をなれて出づ我エホバゐ祈ん明日蚋パロとろの臣下とろの民を離れん第パロ再び僞をおこなひ民を去ゑめてエホバに犧牲をさゝぐるを得せしめざるが如きことを爲ざれ　三十かくてモーセ、パロをはなれて出でエホバゐ祈りたれゞ　三一エホバ、モーセの言のごとく爲したまへり即ちろの蚋をパロとろの臣下とろの民よりはなれゑめたまふ一ものこらざりき　三二然るにパロ此時にもまたろの心を頑固ゐして民を去ゑめざりき

第九章

一　爰ゐエホバモーセにいひたまひけるゑパロの所ゐいりてかれに告よヘブル人の神エホバ斯いひたまふ吾民を去ゑめて我ゐつかふることを之せ去めよ　二汝もし彼等をさら去むるゐとを拒ゑて尙かをらを拘留へなゞ　三エホバの手野ゐをる汝の家畜馬、驢馬、駱駝、牛ゐよび羊ゐ加はらん即ち甚だ惡き疾ゐるべし　四エホバイスラエルの家畜とエジプトの家畜とを別ちたまんイスラエルの子孫に属する者は死る者ゐらざるべしと　五エホバまた期をさだめて言たまふ明日エホバこの事を國ゐおさんと　六明日エホバこの事をなしたまひけれゞエジプトの家畜みな死り然どイスラエルの子孫の家畜は一も死ざりき　七パロ人をつかはして見さゑめたるにイスラエルの家畜い一頭だゐも死ざりき然どもパロい心剛愎ゐして民をさら去めざりき　八またエホバモーセとアロンゐいひたまひけるい汝等竈爐の灰を一握とれ而してモーセパロの目の前ゐて天ゐむかひて之をまきちらすべし　九其灰エジプト全國に塵となりてエジプト全國の人と畜獸ゐつき膿をもちて脹る〻腫物とならんと　十彼等すなたち竈爐の灰をとりてパロの前に立ちモーセ天ゐむかひて之をまきちらしけれゞ人と獸畜につき膿をもちて脹る〻腫物となれり　十一法術士等いろの腫物のためにモーセの前に立つことを得ざりき腫物い法術士等よりして諸のエジプト人にまで生じたり　十二然どエホバパロの心を剛愎にゑたまひたれゞ彼らに聽ざりきエホバのモーセに言給ひし如し　爰ゐエホバモーセにいひたまひけるゑ朝早くおきてパロの前にたちて彼に言へヘブル人の神エホバ斯いひたまふ吾民を去しめて我に事ふるを之せしめよ　十四我此度わが諸の災害を汝の心となんぢの臣下およびなんぢの民に降し全地に我ごとき者おきことを汝に知ゑめん　十五我もしわが手を伸べ疫病をもて汝となんぢの民を擊たらゞ汝い地より絶れしおらん　十六然ども抑わが汝をたてたるい即ちなんぢをしてわが權能を見さしめわが名を全地ゐ傳へんためおり　十七汝ゐは吾民の前ゐ立ふさがりて之を去しめざるや　十八視よ明日の今頃我はゐゑだ大なる雹を降すべし是ゑエジプトの開國より今までに嘗てゐらざりし者おり　十九然ゞ人をやりて汝の家畜ゐよび凡て汝が野に有る物を集めよ人も獸畜も凡て野ゐゐりて家ゐ歸らざる者い雹ろの上ゐふりくだりて死るゐいたらん　二十パロの臣下の中エホバの言を畏る者いろの僕と家畜を家ゐ逃いらしめしが　二一エホバれ言を意ゐとめざる者ゑろの僕と家畜を野に置り　二二エホバモーセにいひたまひけるゑ汝の手を天に舒てエジプト全國に雹ゐらしめエジプトの國中の人と獸畜と田圃の諸の蔬にふりくだらしめよと　二三モーセ天にむかひて杖を舒たれゞエホバ雷と雹を遣りたまふ又火いで〻地に馳すエホバ雹をエジプトの地に降せたまふ　二四斯雹ふり又火の塊雹に雜りて降る甚だ厲しエジプト全國にゑ其國を成てよりこのかた未だ斯る者ゐらざりしなり　二五雹エジプト全國に於て人と獸畜とをいたず凡て田圃にをる者を擊り雹また田

ト 獸十六〇二
チ 申二十八〇二十七
リ 提後三〇九

メ 出四〇二十一、七〇十四
申二〇三十　青十一〇二
十　箴六三〇十七　約十
二〇四十　羅九〇十八
雅十三至十六

ル 出四〇二十一
チ 出八〇二十
ワ 申三〇二四、三十三〇三六
母下七〇二十二　詩七一〇
十九八六〇八　箴四五〇
五、二十五　耶十〇六七

カ 出三〇二十
ヨ 箴十六〇四　羅九〇十七
彼前二〇九

ダ 獸十六〇二十一
レ 青十〇十一　詩十八〇十
三　箴三十〇三十　獸八
〇七

ソ 詩百五〇二十三

ッ 出九〇四、六、十一〇七 箴三十二〇十八、十九
ア 出十〇十六
ナ 代下十二〇六 詩百二九〇四、百四五〇十七 箴二〇十八、伯九〇十四 徒八〇二十四
ラ 出八〇八、二八、十〇十七
ム 王上八〇二十二、三八、詩百四三〇六 箴一〇十五
ウ 詩二四〇一 哥四十〇二十六 箴二六〇十
ヰ 箴一〇二十二、二〇二十三
ノ 傳一〇二十二、二〇二十三
オ 出八〇十二
イ 出四〇廿一、七〇十四
ロ 出七〇四 詩四四〇一、七〇十四、二四〇二七 伯四二〇六 耶十三〇十八 雅四〇十 彼前五〇六
ハ 箴廿〇廿七 箴九〇三
ニ 王上廿一〇廿九 代下七〇十四、二四〇二七 詩四四〇一、七〇十八、七八〇五 耳一〇三
ホ 箴廿〇廿七 箴九〇三
ヘ 出十〇十五
ド 詩九〇廿二 耳一〇四、二〇二五

圃の諸の蔬を擊ち野の諸の樹を折り　唯イスラエルの子孫のをるゴセンの地にハ雹あらざりき　是に於
てパロ人をつかはしてモーセとアロンを召てこれハ言けるハ我此度罪をかしたりヱホバハ義く我とわ
ご民ハ惡し　ヱホバハ願ひてこの神鳴と雹を最早これにて足ぬめよ我なんぢらを去ぬめん汝等今ハ留る
ハおよばず　モーセかれハ曰けるハ我邑より出て我手をヱホバに舒ひろげん然バ雷やみて雹かさねてハ
らざるべし斯して地ハヱホバの所屬なるを汝に知らしめん　然ど我知る汝とおんぢの臣下等ハなほヱホ
バ神を畏れざるおらんと　偖麻と大麥ハ擊れたり大麥ハ穗いで麻ハ花さきゐたれバなり　然ど小麥と裸
麥ハ未だ長ざりしによりて擊れざりき　モーセパロをはなれて邑より出でヱホバにむかひて手をのべひ
ろげたれバ雷と雹やみて雨地にふらずなりぬ　然るにパロ雨と雹と雷鳴のやみたるを見て復も罪を犯し
其心を剛硬にす彼もろの臣下も然り　即ちパロハ心剛愎にしてイスラエルの子孫を去ぬめざりきヱホバ
のモーセによりて言たまひしごとし

第十一章

一　爰にヱホバモーセにいひたまひけるハパロの所に入れ我かれの心とろの臣下の心を剛硬にセ
り是ハわが此等の徴を彼等の中に示さんため　二　又なんぢをして吾がエジプトにて行ひし事等すなハち吾
がエジプトの中にておしたる徴をおんぢの子とおんぢの子の子の耳に語らぬめんためなり斯して汝等わ
がヱホバおるを知べし　三　モーセとアロンパロの所ハいりて彼ハいひけるハヘブル人の神ヱホバかく言た
まふ何時まで汝ハ我に降ることを拒むや我民をさら去めて我に事ふることを之せ去めよ　四　汝もしわが民
を去去むることを拒まバ明日我蝗をなんぢの境に入去めん　五　蝗地の面を蔽て人地を見るあたハざるべし
蝗かの免かれておんぢに遺れる者すなハち雹に打のこされたる者を食ひ野に汝らのために生る諸の樹を

チ 出八〇三、廿一
リ 出廿三〇卅三 箴廿三〇十三 利上十八〇廿一 傳七〇二六 哥前七〇三五
ヌ 出五〇一
ル 出七〇十九
チ 出十〇四、五
ワ 詩七八〇四六、百五〇卅四
カ 耳三〇二
ヨ 出十〇五
タ 詩百五〇卅五
レ 出九〇二七
ソ 出九〇二六、王上十三〇六

くらハん　又おんぢの家とおんぢの臣下の家々および凡のエジプト人の家に滿べし是ハなんぢの父とな
んぢの父の父が世にいでしより今日にいたるまで未だ嘗て見ざるものおりと斯て彼身をめぐらしてパロ
の所よりいでたり　七　時にパロの臣下パロにいひけるハ何時まで此人われらの網となるや人々を去ぬめて
ろの神ヱホバに事ふることをゆるせ去めよ汝おゆまエジプトの滅ぶるを知ざるやと　八　是をもてモーセとアロ
ンふたゝび召れてパロの許にいたるにパロかれらにいふ往ておんぢらの神ヱホバに事へよ但し往く者ハ
誰と誰おるや　九　モーセいひけるハ我儕ハ幼者をも老者をも子息をも息女をも擊へて往き羊をも牛をもた
づさへて往くべし其ハ我らヱホバの祭禮をおさんとすればおり　十　パロかれらにいひけるハ我汝等とおん
ぢられ子等を去ぬむる時ハヱホバなんぢらと偕に在れ愼めよ惡き事なんぢらの面のまへにあり　十一　ろハ宜
かちず汝ら男子のみ往てヱホバに事よ是おんぢらが求むるところおりと彼等つひにパロの前より逐いだ
さる　十二　爰にヱホバ、モーセにいひたまひけるハ汝の手をエジプトの地ハうへに舒て蝗をエジプトの國に
のぞませて彼の雹が打殘したる地の諸の蔬を悉く食ぬめよモーセすなハちエジプトの地の上にろの杖を
のべけれバヱホバ東風をおこしてろの一日一夜地にふかゑめたまひしが東風朝におよびて蝗を吹きたり
て　十四　蝗エジプト全國にのぞみエジプトの四方の境に居て害をおすこと太甚し是より先にハ斯のごとき蝗
おかりし是より後にもあらざるべし　十五　蝗全國の上を蔽ひければ國暗くおりぬ而して蝗地の諸の蔬および
雹の打殘せし樹の菓を食ひたれバエジプト全國ハ於て樹にも田圃の蔬ハも青き者とてハのこらざりき　十六
是をもてパロ急きモーセとアロンを召て言ふ我なんぢらの神ヱホバと汝等とにむかひて罪ををかせり　十七
然バ請ふ今一次のみ吾罪を宥してなんぢらの神ヱホバハ願ひ唯此死を我より取はおさゑめよと　十八　彼すお